

参考資料Q2-1(3)：独立板を用いたアンカーの設置位置

※グラウンドアンカー設計・施工要領 p50 (NEXCO H19.8) より引用

(2) 独立板を用いたアンカーの設置位置

アンカーを脆弱な地盤やのり肩小段付近に設置した場合、現地条件によって小段が変形する可能性がある。

図4.5.6①に示すように独立板からの荷重の影響線が小段に及ぶことを考慮すると、小段が変形する可能性がある。独立板からの荷重分散は、地盤が十分拘束されている場合は均等に分散できるが、小段のような開放部分があったり、節理が流れ盤状に発達した地盤では、地盤強度が不足し①のような小段の盛り上がりや破壊の変状を起こす。そのため、図4.5.6②のように独立板からの影響線が小段を外れるように計画するものとする。地盤状況に応じて必要な離隔をとることが必要である。

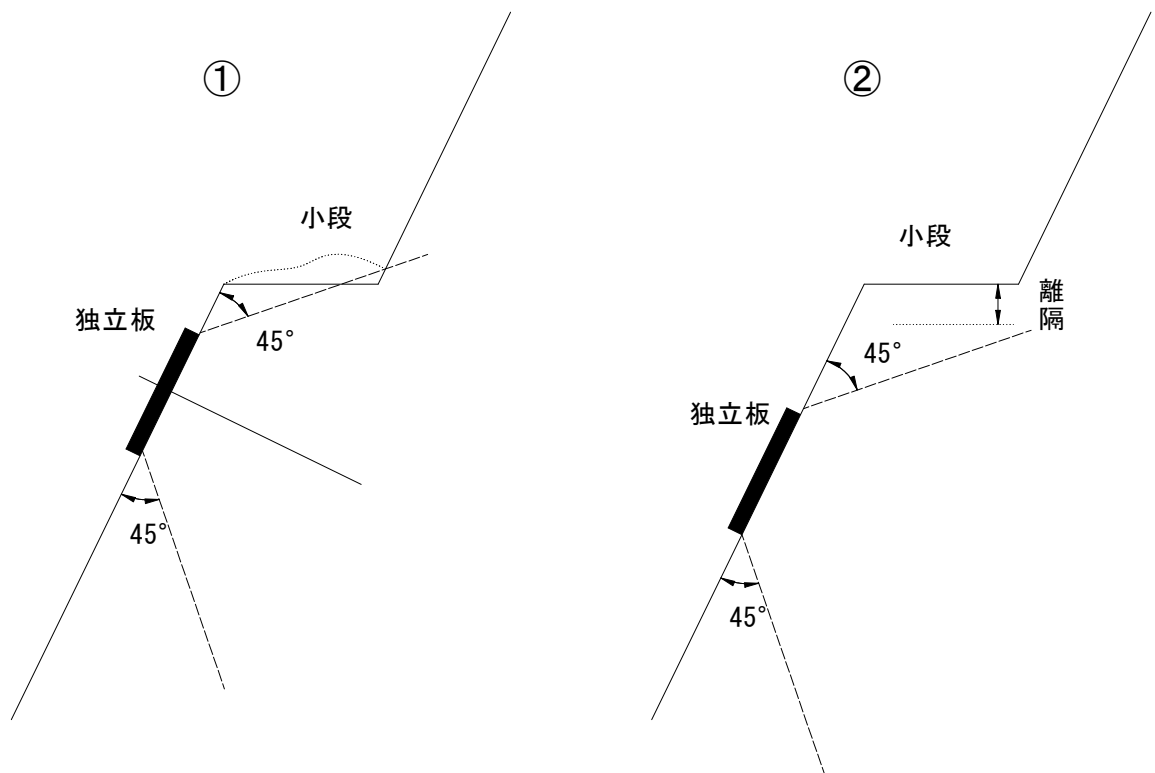


図4.5.6 小段と独立板の位置